

豊中市ごみ減量実験の結果について

平成24年(2012年) 9月 28日

豊中市減量推進課

ごみ減量実験の概要

- 実施時期：平成24年（2012年）7月21日から8月31日までの任意の2週間
- 市民22世帯（65人）の参加
- ごみ減量を意識しない1週間とごみ減量を意識した1週間でごみがどの程度減るか調査するとともに、実験を通しての気づき、意識の変化を調査

基本属性

- ごみを減らすために、「紙ごみを分別する」、「生ごみの水切りをする」、「買い物袋を持参する」という点に気をつけているという方がほとんどでした

1. 回答者の年代

| 年代 | 回答者数 | 割合 |
|-----|------|--------|
| 10代 | 9 | 40.9% |
| 20代 | 0 | 0.0% |
| 30代 | 2 | 9.1% |
| 40代 | 3 | 13.6% |
| 50代 | 2 | 9.1% |
| 60代 | 3 | 13.6% |
| 70代 | 2 | 9.1% |
| 80代 | 1 | 4.5% |
| 合計 | 22 | 100.0% |

2. 家族数

| 家族数 | 回答者数 | 割合 |
|-----|------|--------|
| 1人 | 1 | 4.5% |
| 2人 | 5 | 22.7% |
| 3人 | 10 | 45.5% |
| 4人 | 6 | 27.3% |
| 合計 | 22 | 100.0% |

3. 回答者の年代

| 主なごみ減量の工夫 | 回答者数 |
|-------------|------|
| 紙ごみを分別した | 8 |
| 食品ごみの水切りをした | 6 |
| 買い物袋を持参した | 6 |
| 残さず食べた | 2 |

(複数回答可)

※10代の9名は、小学生の皆さんに夏休みの自由研究の一環として取り組んでいただきました。

実験結果① 可燃ごみ

| | ごみ全体の量 | 1世帯あたりのごみの量 | 1人あたりのごみの量 |
|---------------|---------|-------------|------------|
| A. ごみを意識しない生活 | 116.0kg | 5.7kg | 1.9kg |
| B. ごみを意識する生活 | 97.5kg | 4.7kg | 1.6kg |
| A-B | 18.5kg | 1.0kg | 0.3kg |



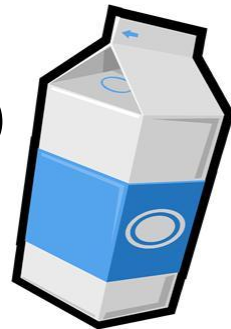
ごみ減量を意識すると22世帯で
約18.5kg減らすことができました

可燃ごみについてわかったこと

- ・22世帯が意識するだけで、一週間で約19kgのごみが減らせることがわかりました。
- ・このままごみ減量を意識して生活すれば1年間では約962kgの減量が可能です。

962kg

= 牛乳1Lパック(1kg)
962本分も



もしも、豊中市内全体で取組めば・・・

豊中市民全体（約17万世帯）が一年間協力すれば、
可燃ごみは

約7,960t 減量

☆平成23年度（2011年度）の可燃ごみ量
56,051tの約14%にあたり大きな減量効果

収集運搬・処理費の削減

資源の保全

最終処分場の延命



大きな効果
が！

実験結果② プラスチック製容器包装

| | ごみ全体の量 | 1世帯あたりのごみの量 | 1人あたりのごみの量 |
|---------------|--------|-------------|------------|
| A. ごみを意識しない生活 | 20.1kg | 0.9kg | 0.3kg |
| B. ごみを意識する生活 | 14.7kg | 0.7kg | 0.2kg |
| A-B | 5.4kg | 0.2kg | 0.1kg |



ごみ減量を意識すると22世帯で
約5.4kg減らすことができました

プラスチック製容器包装について わかったこと

- 22世帯で一週間約5kg減らせることがわかりました。
- 可燃ごみと同様に、このまま減量を意識して生活すると、年間約281kgごみの減量が可能です。

281kg

=

レジ袋・トレー
1枚 10g

28,100枚分



もしも、豊中市内全体で取組めば・・・

豊中市民全体(約17万世帯)が一年間協力すれば、プラ製容器包装ごみは

約1,770t 減量

可燃ごみに比べて重量は少ないですが、プラ製容器包装は容量が大きいのが特徴。(重量×30倍＝容積といわれています)

収集運搬・リサイクル
費用の削減
製造や資源化の際の
CO2排出抑制



大きな効果
が！

参加者のご意見から

- 外食・内食か、家で作って食べるかどうかといった食のスタイルの在り方がごみの量に結び付く
- プラスチック製容器包装はほとんどのものについているので減らなかった
- 余分なものを買わないことが大切
- 多くの商品がプラスチック製容器包装に包まれているので製造者・販売者型でのごみ減量意識を高めてもらふことも大切
- ほんの少し意識するだけでも大きく結果が変わるのでたくさんの人が少し変わるだけでも効果があると思う。広くアピールしていくことが必要

実験結果のまとめ

- 少しごみ減量を意識すると可燃ごみ、プラスチック製容器包装ごみとも大きく減ることがわかりました。
- ※実験結果は一定の条件下での試算値であり、参加者数や実施の季節によりごみの量のばらつきがあることに留意する必要があります
- また、実験を通じ参加者にも様々な気づきや発見がありました。

みなさんの**少しの**意識が**大きな**ごみ減量に
結び付きます

豊中市全体でごみを減らそう！